# 地域支援センター　みみらんど・會津

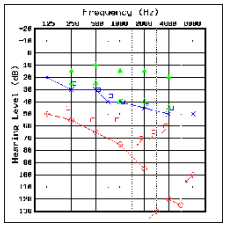
☆聴覚に障がいをもつお子さんは、
どんな聞こえ方で、何に困っているのでしょうか？
補聴器をしていないお子さん、人工内耳のお子さんも
配慮が必要です。一緒に考えてみませんか？

**☆そのために、地域支援センターみみらんど・會津では、このような支援をしています。**

① お子さんの聞こえ方のイメージを知ることができます。

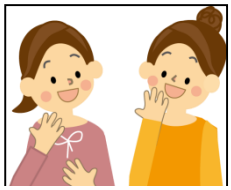
お子さんの聴力測定結果をもとに、どのような音や会話がどのように聞こえているのかをパソコンソフトで疑似体験できます。

②オージオグラムの見方をお知らせします。




オージオグラム

③お子さんの困っていないようで困っていることの視点をお伝えします。



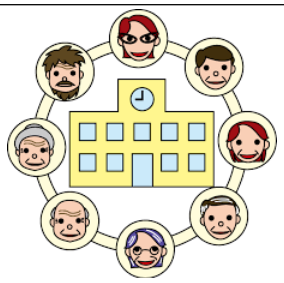
１対１ではわかるけれど、複数での会話は聞き取りにくいです。でも、「もう一回言って」とは言えないものです。また、グループ学習時など話し合い活動でも、聞こえへの配慮が必要です。座席の配置など補聴機器に応じた対策が考えられます。

④合理的配慮を一緒に考えます。

合理的配慮の例
：騒音を減らす

合理的配慮については、
お子さんのニーズや学校の状況によっても内容は変わります。必要な支援と可能な支援の両方から考え、必要な手続きを確認できます。

⑤連携のお手伝いをします



学校だけではわからない情報を得られたり、指導上の配慮の視点を広げられたりします。

⑥お子さんの支援を、一緒に考えます。保護者の方向けの教育相談を行っています。

保護者の方への教育相談も行います。お子さんの聞こえやことばの育ちを感じて、子育てに自信をもてるよう支援します。


連絡先　福島県立聴覚支援学校会津校　地域支援センターみみらんど・會津
Tel・Fax　0242-22-1286　メール fukushima-sd-aizu@fcs.ed.jp


みみらんど